



# 第5回 日本一学生が活躍するまちづくり ワークショップ

日時：2025.7.2（水）18：00～19：30

場所：山口大学常盤キャンパス「志」イノベーション道場

宇部市は、令和7年度から学生の感性と行動力をまちづくりに反映させて“若者に選ばれるまち”を目指す「日本一学生が活躍するまちづくり」事業を開始しました。学生の視点・発案をまちづくりに反映させる仕組みを構築・実践するためのワークショップには、公募により選ばれた市内外の大学生約40人が参加しています。



《ゲストトーク》 株式会社KMK 代表取締役 宮本和哉 氏  
「カッコいい選択で未来を切り拓け！」

第5回目は、株式会社KMKの宮本和哉 代表取締役をゲストスピーカーにお迎えし、「カッコいい選択で未来を切り拓け～人と比べる人生はつまらない～」をテーマに講演していただきました。

宮本代表取締役は、19歳の時に「30歳までに失敗しない経営者になる」ことを目標に掲げ、「砂の上に家は建たない」の言葉を胸に、経営学を猛勉強したことを紹介しました。

その後、組織や経営を学ぶために入社した企業では「2番はドベ（＝最下位）と一緒に」と意気込み、営業でトップ成績を残したことや最年少で部長を務めたことを紹介しました。

これらの経験を基に、世界的にも高い経済成長が見込まれるASEAN諸国のうち、人口が最大のインドネシアで創業し、数々の失敗を経て、現地に住む人と共生・協業する大変さを痛感したと説明しました。

さらに28歳で株式会社KMKを創業したのは、人手不

足や人材の定着に困っている日本の経営者と、日本で働きたいがチャンスが無いインドネシア人の双方の課題を解決するためだったとして、「何の為に取り組むのかを考え、自分がやりたいことではなく、目の前のたった一人を全力で喜ばせるための選択をしてきた」と語りました。

そして「あらゆることに覚悟をもって臨んでほしい。カッコいい大人になってください」とメッセージを送りました。



講演の後、参加する学生は、10月に予定されている政策提案に向けて現時点でのアイデアを発表し、改めて一緒に取り組むメンバーを互いに募りました。

アイデアの例としては、貧困世帯の学びたい若者への経済支援、不登校の児童・生徒への支援、学生目線による市のSNS運用、子育て支援のさらなる拡充、関係人口創出や学生の交流促進などがあり、同じ目的を持つメンバーでの議論が交わされました。

次回（7/9）は、これらのアイデアについて、担当する部署の市職員を交えて議論を進め、具体的な提案づくりを目指します。